

平成27年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	野生の認知科学：こころの進化とその多様性の解明のための比較認知的科学的アプローチ
研究代表者	友永 雅己（京都大学・霊長類研究所・准教授）
研究期間	平成27年度～平成31年度
審査結果の所見	<p>本研究は、比較認知科学の手法を用いて、哺乳類が野生動物から人間に至る進化の過程で、どのように「こころ」が進化したかを解明しようとするものである。特に、陸上（馬）、水中（鯨類）、水陸（鰐脚類）、森（霊長類）という環境を軸として研究を進め、物理環境・社会環境をどのように認識し、行動を組織化するかを比較・対照する方法論は、従来のように人間と動物の対照から行われてきた研究方法に比べて斬新で興味深い。本研究の応募者らは、現在既に基盤研究（S）に採択されており、本研究は当該研究の最終年度に研究組織を拡充し、発展させた次のプロジェクトを開始しようとするものである。</p> <p>以上の理由により、基盤研究（S）として推進することが適当と判断した。</p>